

2-5. 第5回「気候変動を解決するイノベーションのタネを探そう」

(1) 開催概要

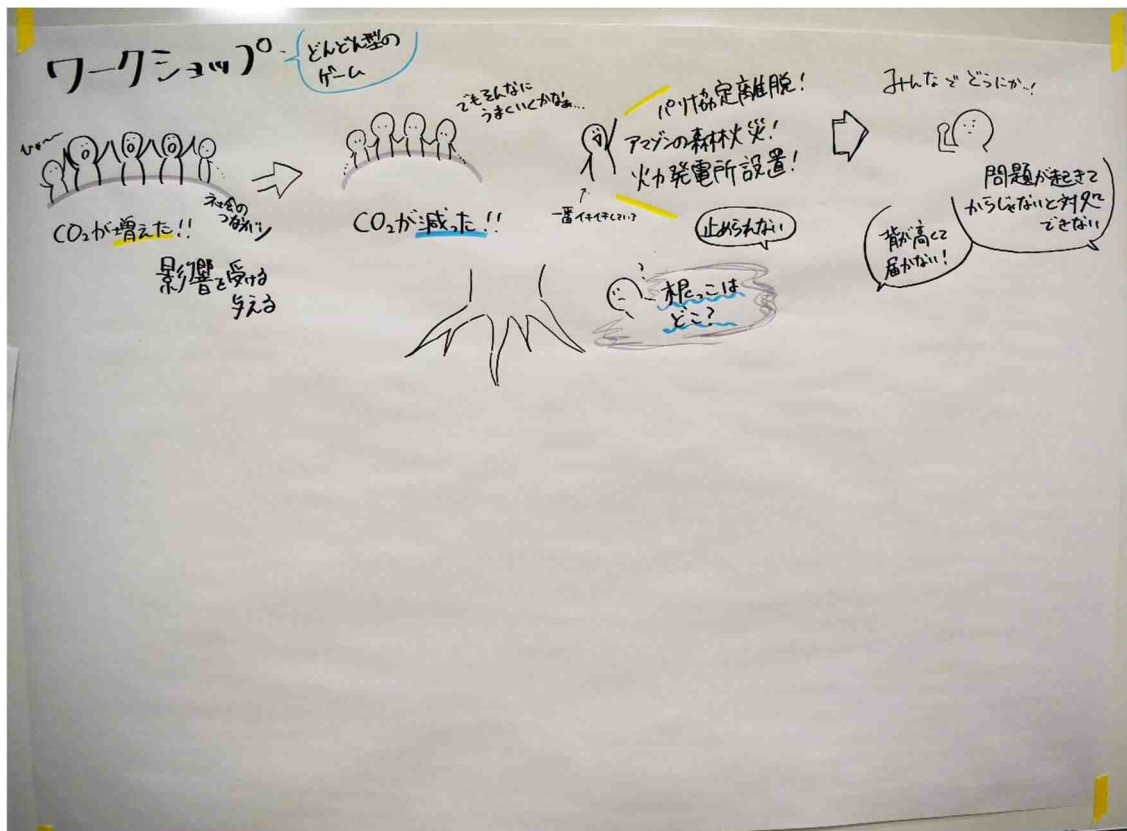
- ・開催日時 令和元年12月15日（木）18：30～21：00
- ・会場 札幌エルプラザ 4階 研修室
- ・参加者 23名
- ・テーマ 「気候変動を解決するイノベーションのタネを探そう」
- ・プログラム

時間	内容	詳細
18：30	1. チェックイン	・1週間で学んだことを発表（3名） ・自己紹介 ・ダイアログの3つの原理
18：50	2. システムってなんだ	・私たちはつながっているということ ・アクションとは何か
20：00	3. 説明	・どんどん型を科学的に定義しようとした人たちのストーリー ・地球というシステムについて ・持続可能な状態、持続可能でない状態
20：20	4. 演習	・持続可能性原則（自然）を使いこなそう ・グループで対話
20：40	休憩	
20：50	5. 振り返り	・グラフィッカーより感じたことを共有 ・個人のワークシートに記入 ・次回のお知らせ
21：00	終了	

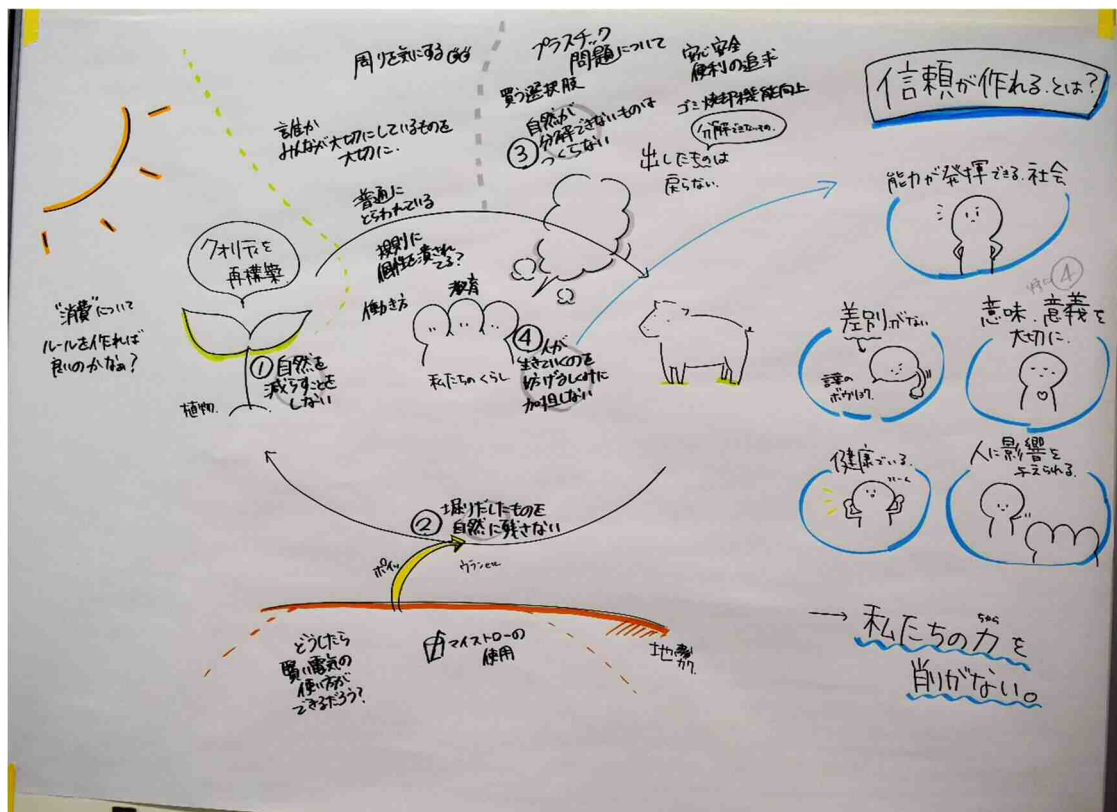
(2) 開催結果

1) ファシリテーショングラフィック

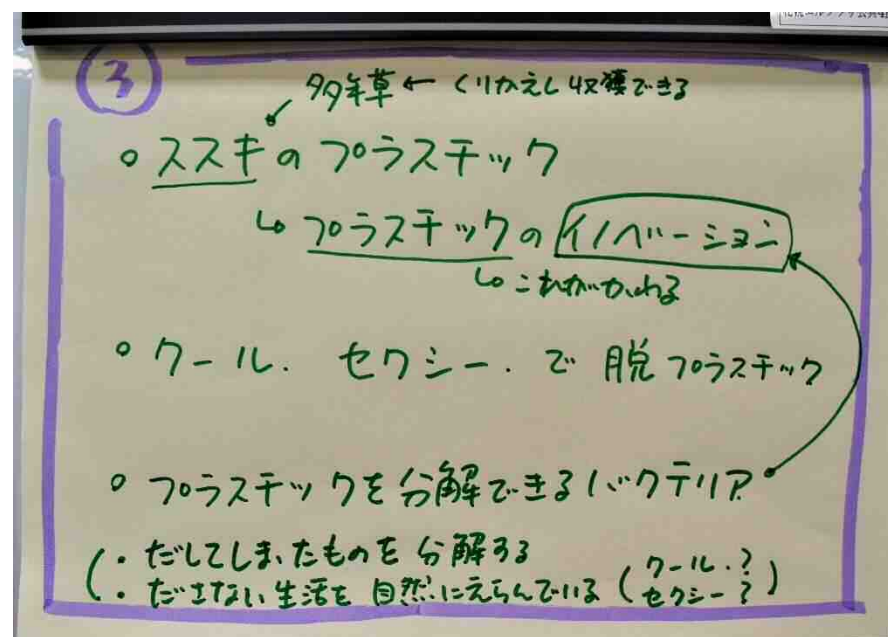
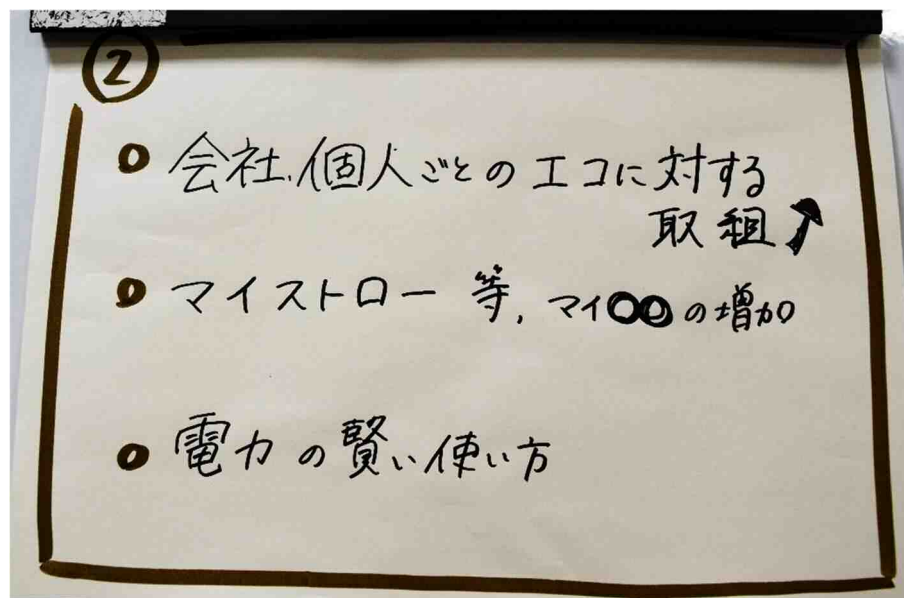
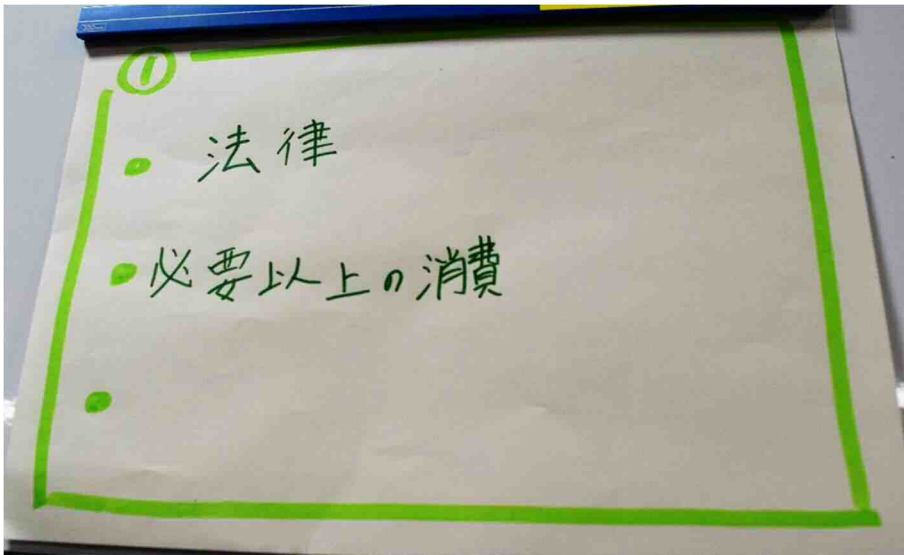
① 小路 楓氏



②宇都 幸那氏



2) グループワークで話し合われた結果



③

* プラスチック、塩化ビニールが安くては食料という
仕組み = 経済成長の過程の問題
過

* 安定・安全・便利利が良から時代 → 今更には
現状を承知しているが受け入れない経済の仕組みが問題

* 焼却炉技術向上にもゴミ処理問題にカタンしている

* プラ製品を使わない店の選択がない

④

規則に

● ~~学生~~ 個性をつぶされている

例) 校則 制服禁止、化粧禁止
会社でスリッパ禁止

● ~~自分~~ 個性を

普通にとらわれている

例) 就活のときにスリッパ、髪形

④

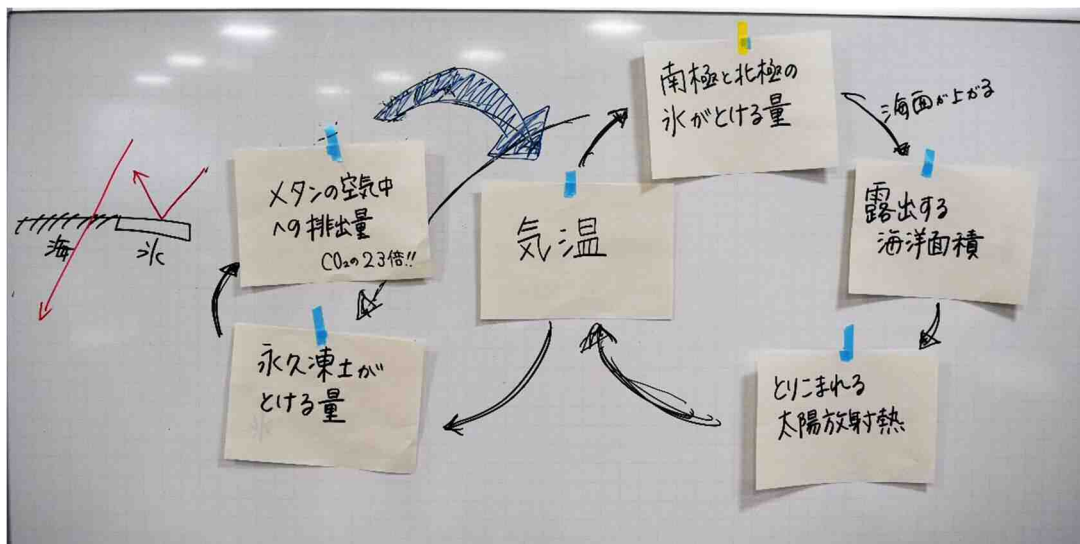
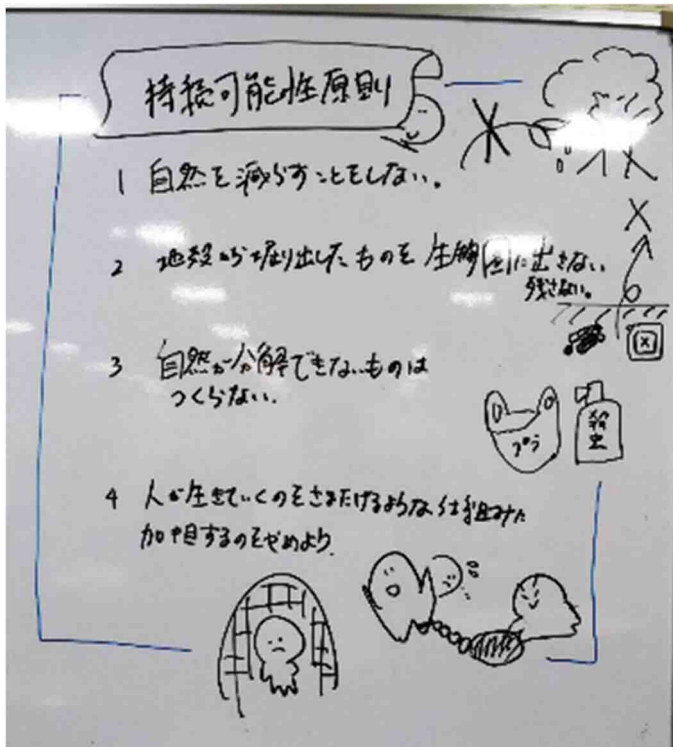
● “みんなの大切”

を

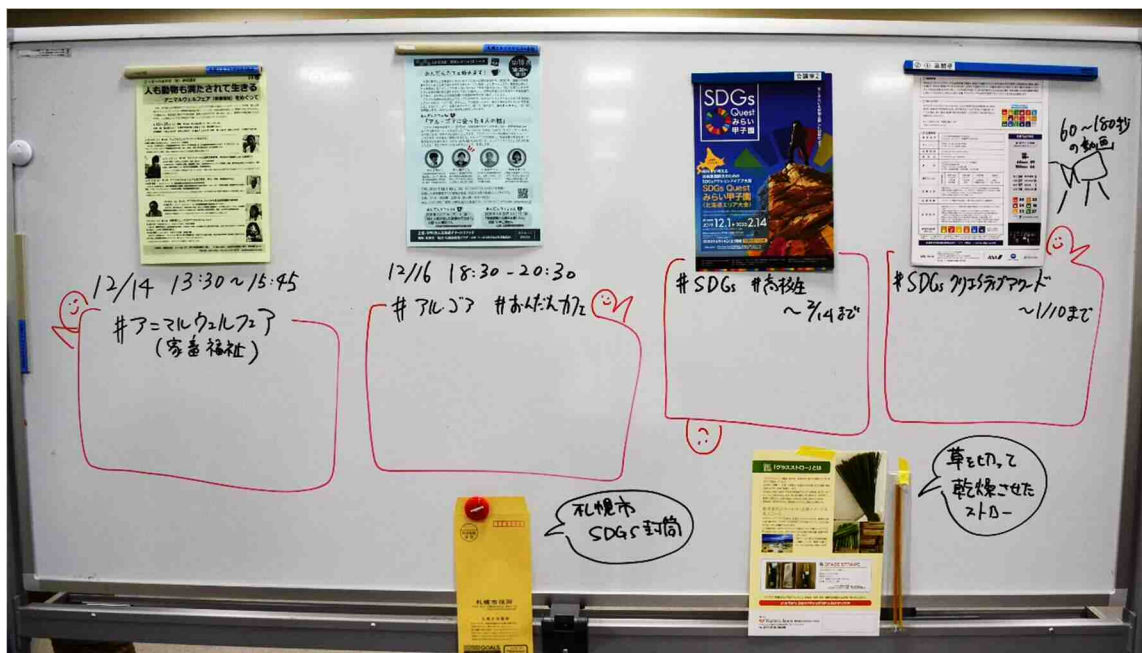
大切にする!

- ④ の谷はばりすぎ (バランスがくずれている)
自分のことだけ考えて、周りに
目を向けずに思うままに生きている。
(自分ごとと思えていない。)
- そもそも生きづらい社会で、
他のことを考える余裕がない。
 - 「みんなが動いたって」という思い
○ 「出るくらいは打たれる」「自立したくない」と
いう風潮
 - 教育の問題 (公立動きにいかも?)

- ④
- 自分の意志をもつ
 - ジェンダー
 - 歩みより



4) 次回のお知らせ



5) 会場の様子

